

## 第三セクターの経営状況

町には4つの第三セクターがあり、それぞれの役割を担いながら「活力ある町くずまき」の情報発信や雇用拡大による地域経済の活性化に貢献しています。4つの第三セクターについて、平成17年度の経営状況をお知らせします。(17年度の決算報告書等を元に作成しています。)

### 社団法人葛巻町畜産開発公社

昭和51年3月設立。北上山系開発事業で整備された牧場管理や地域酪農経営の機能分担、後継者育成などを目的に設立されました。畜産部門のほか、乳製品の製造販売、レストラン・宿泊施設の運営、パンの製造、体験学習受け入れなど14事業を展開しています。3万人が来場するくずまき高原牧場まつり、バイオマス発電など複数の新エネルギー施設の稼働その他先進的な取り組みを進めています。このような公共牧場としての実績が評価され、畜産では最も権威ある平成17年度の「畜産大賞」を受賞しました。



#### 平成17年度決算状況

総収入	11億9,585万円
経常損益	3,315万円
総資産	7億4,271万円
剰余金	1億4,074万円

夏期最大飼養頭数 3,118頭

□資本金	2億1,300万円	※( )は財産区分増加
□町出資額	1億8,210万円	(H18末1億8,900万円)
□出資割合	85.5%	(H18末88.7%)
□借入金残高	2億9,775万円	
□役員等	役員17人、運営委員14人、職員(準職員、パート含む)110人	

### 葛巻高原食品加工株式会社

昭和61年2月設立。山野に自生する山ブドウ、山菜などを加工し、付加価値を高めて出荷することを目的に設立されました。自社管理の圃場と町内外の栽培農家から仕入れた山ブドウなどを原料に、果実酒やジュースの製造販売、ワインハウスの運営を行っています。新製品の開発、国産ワインコンクール入賞、県内外でのワインパーティ開催など業績の向上に向けた取り組みを進めています。



総収入	3億5,044万円
経常損益	1,909万円
総資産	3億2,719万円
剰余金	8,458万円

移出数量 181キリットル (720mlビン換算で約25万本超)

□資本金	9,800万円
□町出資額	4,000万円
□出資割合	40.8%
□借入金残高	1億1,000万円
□役員等	役員6人、社員(準社員含む)27人

### 株式会社グリーンテージくずまき

平成5年1月設立。都市と農村との交流促進による交流人口の増大と若者定住を促進するために整備されたふれあい宿舎グリーンテージくずまきの経営にあたる会社として設立されました。平成18年4月からは指定管理者として指定を受け、同施設を管理し、宿泊、レストラン、売店などの経営を行っています。



#### 平成17年度決算状況

総収入	1億5,161万円
経常損益	105万円
総資産	3,675万円
剰余金	123万円

利用者数 56,751人

□資本金	2,200万円
□町出資額	1,985万円
□出資割合	90.2%
□借入金残高	なし
□役員等	役員6人、社員(臨時含む)20人

### エコワールドくずまき風力発電株式会社

平成10年6月1日設立。まちづくりの理念である「自然と人間との共生」を踏まえ、風力発電の経済的採算性、稼働率、将来性や電力の販売、地域で活用するための調査研究を目的に設立しました。袖山高原の風力発電機3基の管理運営と発電事業を行っています。



#### 平成17年度決算状況

総収入	1,096万円
経常損益	△1,568万円
総資産	2,071万円
累積欠損金	1億4,006万円

発電実績 1,313,126KWh

□資本金	1,000万円
□町出資額	250万円
□出資割合	25%
□借入金残高	1億4,300万円
□役員等	役員7人、社員なし

## 用語説明

### 【第三セクター】

国・地方公共団体と住民・事業者などが、お金を出し合い、設立される事業体。行政部門の第一セクターと民間部門の第二セクターの両者で行うことから第三セクターといわれます。

### 【総収入】

総収入＝売上高＋営業外収益＋特別利益

### 【経常損益】

利息や有価証券の売買など、本業以外の損益も含めた日常的な経営活動による儲けのこと。

### 【総資産】

総資産＝流動資産＋固定資産

### 【剰余金】

自己資本のうち、資本金を超える部分をいう。

### 【累積欠損金】

自己資本のうち、資本金を下回る部分をいう。